



特集 ロボット支援下による低侵襲外科手術



患者さん
からよく
ある質問

もっと知りたい!ロボット支援手術のQ&A

Q1. どんな病気にロボット手術を行っているの?

Q2. ロボット手術は他の手術と比べてどうちがうの?

Q3. かかる費用は?

詳しくは→

News & Topics

広島県指定がん診療連携拠点病院としての取り組み

市民公開講座 -市民と学ぶがん医療2024- 開催しました

当院のがん認定看護師 / がん相談支援センターの紹介

「がん教育」地域の学校で訪問授業を行いました

まもりたい、あなたの明日と地域の医療。

呉共済病院は令和6年11月3日に**創立120周年**を迎えます。

歴史ある真の意味での市民のための病院として、
これからも地域医療に貢献し「高度で良質な医療」を提供してまいります。



1904年（明治37年）創立時の病院 呉海軍工廠職工共済会病院



明治時代 入院患者さんの処置風景



特集

より安全・安心な 高度医療の提供へ



当院は、2024年4月よりda Vinci Xiによるロボット支援下手術を開始しました。低侵襲かつ安全性の高い手術を目指し、高度で良質な医療を提供します。また、患者さん個々の病状に合わせた最適な手術方法（ロボット支援、腹腔鏡下、開腹など）を提示し、安全で確実な治療を行っていきます。詳細については各診療科にご相談ください。

／ロボット支援下による低侵襲外科手術 診療科紹介／

教えて!ドクター

もっと知りたい!ロボット支援手術のQ&A

患者さん
からよく
ある質問

Q1. どんな病気にロボット手術を行っているの?

Q2. ロボット手術は他の手術と比べてどうちがうの?

Q3. かかる費用は?



外 科



シミュレーションの様子

消化器外科医長

齊藤 保文



ー担当医からメッセージー

当科では最新の手術支援ロボット「ダビンチXi」を使用して、従来の腹腔鏡手術同様にお腹に小さな穴を開けて手術を行なっています。7月より直腸癌に対して導入し、今後は結腸癌やその他の臓器でも導入予定です。手術支援ロボットは十分な訓練のもと認定を受けた医師が操作します。ロボット自体にも正常な動作を維持する機能がついており、手術スタッフの管理のもと安全に手術が行われます。術者は拡大された立体的な3D画像を見ることができ、手や指の代わりをする鉗子はブレない繊細な動きが可能でより精緻な手術を実現します。ロボット手術を希望される場合はお気軽に主治医にご相談ください。

- A 1.** 当科では7月より直腸癌手術にロボット支援下手術を導入しました。今後は結腸癌やその他の臓器での導入も予定しております。
- A 2.** 開腹手術と比較した大きなメリットは、最大でも5-6cmの傷1箇所と、5箇所の1cm程度の傷で手術が終わり、傷が目立たず痛みが軽減されることです。精緻な手術を行うことができるので出血が少なく輸血の危険性が減少し、神経や尿管などの臓器が傷つく合併症が少なくなります。また、手術後の回復が早くなり早期の社会復帰や追加治療に早く移行できる可能性があります。
デメリットは高額な医療機器を使用しますので経費が多少かさみますが、患者さんの自己負担は高額医療の限度内ですみ、早期の退院などで医療経済的には大きな損失はないとされています。
- A 3.** ロボット支援下直腸切除術(10日間入院) 3割負担:約520,000円

※食事代など保険適用外の費用が別途必要です。

*掲載の金額は入院費用です。入院期間や治療内容、高額療養費制度の利用等により変動します。

泌尿器科

泌尿器科部長



安東 栄一

ー担当医からメッセージー



当院では、このたび待望の手術支援ロボット「da Vinci（ダビンチ）」を新たに導入し、診療体制を強化いたしました。泌尿器科領域において、2012年4月にロボット支援による前立腺全摘術（RALP）が本邦で保険適用されて以来、急速に普及し、前立腺がんや腎臓がん、膀胱がんなどのさまざまな手術が順次対象となってきました。当院もこの技術を取り入れ、骨盤臓器脱や前立腺がんなどに対して、精密で質の高い手術を順次地域の皆さまに提供してまいります。

- A 1.** 2024年4月から骨盤臓器脱に対してロボット支援下仙骨脛固定術を導入しました。2024年9月まで、同手術を30例行いました。さらに2025年4月からは、前立腺や腎臓の手術などへ適用範囲を拡大する予定です。
- A 2.** ロボットの特性は①きれいな視野(3D)で、②多関節を持ち深い場所での複雑な動きと、③手振れ補正で繊細な動きを可能にすることです。手術においては神経や血管を温存しながら剥離、切除することが求められます。こういった場面でロボット支援手術は大変有用です。
- A 3.** ロボット支援下仙骨脛固定術(8日間入院) 3割負担:約380,000円
 ※食事代など保険適用外の費用が別途必要です。
 *掲載の金額は入院費用です。入院期間や治療内容、高額療養費制度の利用等により変動します。

呼吸器外科

院長補佐・胸部外科部長



杉本 龍士郎

ー担当医からメッセージー



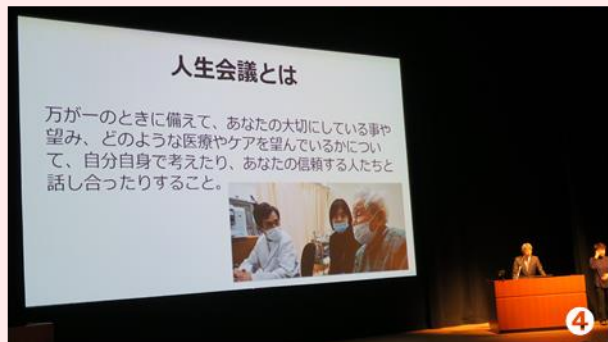
肺がんに対するロボット支援下手術は、2018年から保険適用となりました。現在、全国的に多くの病院で導入されており、安全に手術が行えるように、一定の基準や学会のガイドラインが整えられています。当院ではこれまで、肺がんに対して主に『単孔式胸腔鏡手術』という方法を用いていましたが、この度、新しくロボット支援下手術という選択肢が加わりました。これにより、従来の開胸手術や多孔式胸腔鏡手術に加え、患者さん一人ひとりの状態やがんの進行具合に合わせて、より多くの手術方法から選べるようになりました。どの手術方法が良いかについては、診察の際に医師と一緒に相談して決めることができます。ご不明な点やご希望があれば、遠慮なくお尋ねください。

- A 1.** 区域または肺葉切除を要する、肺がんなどの肺腫瘍(2024年11月時点)
- A 2.** ロボット支援下手術とは、医師が操作したロボットが、精密な動作で手術を行うものです。ロボットの高精度な動きにより、繊細な部分にもより安全にアクセスできるため、手術の精度向上が期待できます。
- A 3.** ロボット支援下肺切除術(9日間入院) 3割負担:約510,000円
 ※食事代など保険適用外の費用が別途必要です。
 *掲載の金額は入院費用です。入院期間や治療内容、高額療養費制度の利用等により変動します。

Topic1

第9回呉共済病院 市民公開講座 開催しました

市民と学ぶがん医療 2024



- ① 呉共済病院 院長 田原 浩 ② 来賓 呉市長 新原芳明様
- ③ 講演 早期大腸がんの診断と治療～大腸内視鏡検査は怖くない!?!～
診療部長・内視鏡室部長 児玉寛治
- ④ 講演 肺がんと人生会議～いつ何をすればよいでしょうか?～
院長補佐・胸部外科部長 杉本龍士郎
- ⑤ 特別講演 ステージⅣの舌ガンを乗り越えて生きる～キャンサーギフト・大切な家族～
タレント 堀ちえみさん

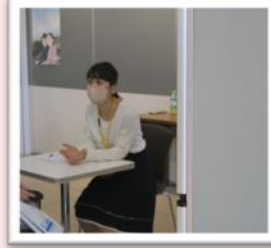
がん相談コーナー



会場外のロビーでは、医師や看護師、薬剤師や管理栄養士、医療ソーシャルワーカー等が、がんに関する相談に対応しました。

開催を終えて

令和6年9月23日(月・祝)新日本造機ホールにおいて、当院主催『第9回呉共済病院 市民公開講座』を開催しました。当院の内視鏡室部長 児玉医師と胸部外科部長 杉本医師のほか、特別講演として歌手でタレントの堀ちえみさんから、ご自身の舌がんの体験についてご講演いただきました。お陰様をもちまして多くの方にお越しいただき、市民の皆様の『がん医療』に対する関心の高さを伺うことができました。当院といたしましても、市民の皆様のご要望に応えられるよう、引続き地域医療の充実・発展に取り組んでまいります。次回の開催にもご参加くださいますようお願い申し上げます。



広島県指定がん診療連携拠点病院

当院は「手術」「化学療法」「放射線治療」など高度で専門的ながん医療を提供しています。地域のかかりつけ医と連携してがん医療の中核的な役割を担っています。がん患者さんの心とからだのケアにも、様々な職種からなる専門チームが取り組んでいます。がん相談支援センターでは、がん患者さんやご家族への情報提供や相談支援に対応しています。



ーがんに関連する分野の認定看護師からメッセージー

呉共済病院では、がん罹患した患者さん・ご家族等を支援するため、がん性疼痛看護認定看護師1名、がん化学療法看護認定看護師2名、緩和ケア認定看護師1名が所属し、日々活動しています。

がんと診断された時から、その方の人生は大なり小なり生活の変更を余儀なくされます。気持ちの落ち込みを体験される方も多くおられます。心とからだは繋がっていますから、病気の経過で気持ちが波打ち、治療を継続する中で薬の副作用が生活の質を落としてしまうこともあります。

そのような中でも、人生で大切にしたいことは何か、どのような生活を送りたいか、どのような医療を受けたいか等、これからの人生について考えるきっかけとなります。

私たちは、患者さん・ご家族等がその人らしく日々を過ごしていただきたいと思っています。

いつでも皆さんの支えになりたいと思っていますので、これからもよろしくお願い致します。



・緩和ケア認定看護師
・がん化学療法看護認定看護師
・がん性疼痛看護認定看護師

患者さんご家族の気持ちに寄り添い、安心して治療を受け、希望に近いかたちの生活が送れるよう支援しています。

認定看護師によるサポート

がん相談支援センターのご案内

～ひとりで悩まずお気軽にご相談下さい～

【相談窓口】

がん相談員（看護師・医療ソーシャルワーカー）が支援させていただきます。

- 1階総合案内 がん相談支援センター（地域医療連携室）
- 月～金（平日）10：00～16：00
- （0823）22-2111（代表）

がん相談支援センターの特徴

1. どなたでも相談ができます
2. 相談は無料です
3. 一回の相談時間は30分程度
4. 電話・面談（要予約）等により相談できます（内容により院内の各専門職が対応します）

地域医療連携室
がん相談支援センター

紹介患者様受付
医療福祉相談
患者相談・受診相談

がん相談
セカンドオピニオン
がんサロン

その他、お気軽にご相談下さい。

こんな不安や悩みはありませんか？

- ✓ がんについて詳しい情報をもっと知りたい
- ✓ 医療費はどのくらいかかるの？
- ✓ 仕事とがんの治療の両立に悩んでいる
- ✓ がんと診断されたけど、他の病院の医師の意見を聞いてみたい



「がん教育」訪問授業



がん教育

現在、日本人の2人に1人が生涯でなんらかのがんにかかっています。
健康に安心して暮らせる社会になるには、早い時期からのがんについての正しい知識と理解が大切です。
また、がん患者さんやご家族など、がんと向き合う人々に対する理解を深めることを通して、健康と命の大切さを学ぶことを目的とした、健康教育の一環として小中高生に対する「がん教育」が行われるようになってきました。

「みんなに知ってほしいがんのこと」

がんの専門的知識をもつ医療従事者の立場から、がんに対する正しい知識や予防方法、早期発見の重要性について、高校生を対象に講義を行いました。

6月10日 県立呉工業高等学校を訪問



杉本龍士郎医師
(院長補佐・胸部外科部長・地域医療連携室副室長)



10月11日 県立三津田高等学校を訪問



松本理恵医師（呼吸器外科部長）

